

# 地域おこし協力隊 通信 VOL.80

お問い合わせ先  
 (観光振興) 企画政策課 企画政策グループ  
 電話 5-1114 告知端末機 5-8814  
 (集落支援) 地域おこし協力隊問寒別事務所「ほっと」  
 電話・告知端末機 9-7367

## 集落支援担当 中井正幸隊員



幌延町に地域おこし協力隊として着任してからまもなく2年半の月日が経過します。

着任から時を同じくして新型コロナウイルスの流行が始まり、地域の日常そのものが大きく変容していく中で日々を過ごしていましたが、感染防止に留意しつつではありますが近頃は止まっていた時の流れが少しずつ動きだしたことを感じられます。

まちづくりに関する懇談会などが開催されることも増え、町外からの移住者を呼び込むことや、定住できる家の確保が今後は必要だというお話をよく耳にします。

そこで今回は幌延町で実施している「空き家・空き地バンク」制度をご紹介します。

「空き家・空き地バンク」とは空き家または空き地の物件情報を地方公共団体のホームページ上で情報提供し、幌延町への移住や定住に興味のある方へ紹介する制度です。この制度は全国の多くの自治体で実施されており、検索されやすい自治体のホームページで紹介することで、実際に移住先を探している方が容易に情報を得ることができ、移住するまちを検討する手段として大いに用いられています。

まだ使えるからもったいない、すぐに壊す必要はないから入居希望者がいないか探してみたい。そんな町内で所有する空き家、空き地を売りたい、貸したいとお考えの方は物件情報を町のホームページへ掲載してみたいはいかがでしょうか？

詳細につきましては町ホームページをご覧ください。どうか、企画政策課までお問い合わせください。



## 観光振興担当 貞廣拓哉隊員



皆さんこんにちは、地域おこし協力隊の貞廣です。

少し前の話になりますが、6月17日(金)に幌延小学校3年生の皆さんが遠足で幌延ビジターセンターへお越しになり、私は昨年同様、ビジターセンター館内の説明や木道散策でのガイドを担当させていただきました。サロベツ原野についての説明はクイズ形式で行い、少しでも子どもたちにサロベツ原野というものを知ってもらえるようにと思って準備をしたので盛り上がってよかったです。人に説明する難しさを改めて実感しました。

この日は朝から雲が多かったのですが、午後の木道散策では太陽が出て、絶好の散策日和になり、子どもたちから「この花は何ですか?」、「(パンフレットを見て)この花はどこに咲いていますか?」などの質問が殺到し、このような体験はめったに無いので、私自身とても勉強になりました。

今度はぜひ家族と一緒にサロベツ原野へ来て見てくださいね。幌延小学校3年生の皆さん、ありがとうございました!



咲き誇るエゾカンゾウと、散策を楽しむ小学生たち